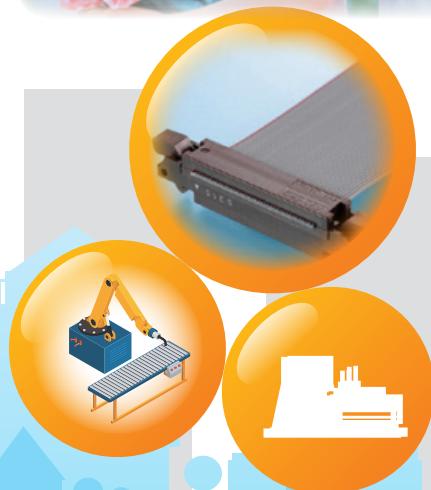
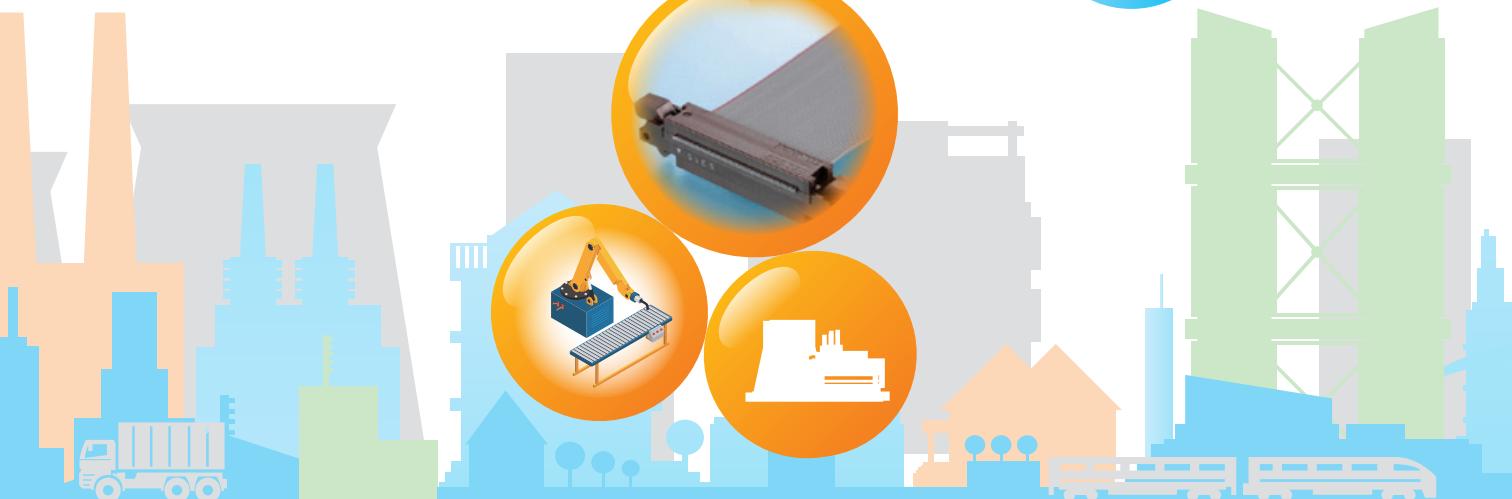


第56期 中間報告書

2017年4月1日 - 2017年9月30日

KEL





代表取締役社長
土居悦郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第56期第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

今年度は、基本方針を「①確実な成長を遂げられる企業体質を構築する。②あらゆる可能性を切り拓いて各分野／領域を拡大する。」とし、運営方針である「①コネクタ・ハーネス・ラックの3事業を継続する。②新製品売上高を倍増させる開拓開発活動を行う。③海外市場を強化拡大する。（アジア、欧州市場の開拓）④車載市場を強化開拓する。（新顧客／新製品／新分野に注力）⑤工業・車載・遊技・画像・医療機器を注力市場とする。」を推進し、更なる価値創造に向けて活動してまいりました。

また、当社グループは注力市場の動向を見極めた受注活動を展開するとともに、生産性の向上によるコスト削減、設備投資の効率化や諸経

費の抑制など経営全般にわたり効率化を推進し、企業基盤のさらなる強化に努めてまいりました。

以上の結果、工業機器・産業機器市場向けの売上が高水準で推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は51億88百万円（前年同四半期比13.7%増）、利益面につきましては営業利益5億57百万円（同70.5%増）、経常利益5億73百万円（同63.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億86百万円（同53.7%増）となりました。

引き続き、顧客活動の質・量を上げ商談発掘、商談成約を推進し、市場活動の中で付加価値製品の開発を行い、生産性を向上し収益力を高め、中長期的に成長し続けることができる企業を目指し活動してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

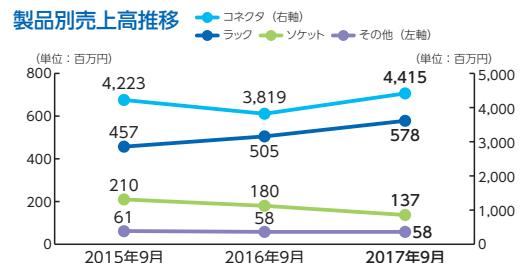
経営成績・通期の見通し

工業・画像・車載機器市場が好調に推移し売上高増加

- コネクタ売上高については、遊技機器・医療機器・事務用機器向け製品の売上高は減少しましたが、工業機器・画像機器・車載機器向け製品の売上高が増加したことにより、前年同四半期比15.6%の増加となりました。
- ラック売上高については、半導体製造装置、車両関連製品、通信機器向け製品の売上高が増加したことにより前年同四半期比14.5%の増加となりました。
- 経常利益については、増収効果に加え、設備投資の見直しによる減価償却費の低減等のコスト削減に努めた結果、前年同四半期比63.3%の増加となりました。

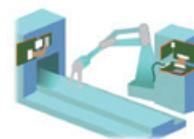
成長市場への注力と新市場の創出

- 小型かつ高速伝送のニーズに対応したフローティングコネクタのバリエーション拡大
- DTシリーズ（フローティングコネクタ）を新たな柱とすべく、車載機器・画像機器・遊技機器向けの拡販
- 極細同軸ケーブル用コネクタによる画像機器での増販
- 海外進出顧客の現地調達ニーズへの対応により販路の開拓と海外売上の拡大
- 医療機器における検査機器から治療機器までの採用製品の拡大



工業機器

制御装置
半導体製造装置
車両機器用製品



売上高構成比30.2% 前第2四半期比28.8%増

企業の生産活動の回復が続いており、制御装置、半導体製造装置、ロボット等省力機器向けコネクタ（フローティング、ハーフピッチ）および車両関連向け特注ラックの販売が増加したことにより、売上高は15億67百万円（前年同期比28.8%増加）となりました。

遊技機器

パチンコ
パチスロ用製品

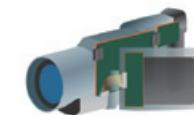


売上高構成比12.3% 前第2四半期比22.1%減

遊技市場の低迷が続くなか、ドローコネクタの販売は増加しましたが、クォーターピッチコネクタおよびソケットの販売が減少したことにより、売上高は6億38百万円（同22.1%減少）となりました。

画像機器

デジタルカメラ
ビデオ
監視カメラ用製品

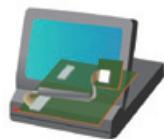


売上高構成比21.0% 前第2四半期比13.7%増

デジタルカメラ向けフローティングコネクタの販売は減少しましたが、監視カメラ需要が堅調に推移していることもあり、監視カメラ向け極細同軸ケーブル用コネクタの販売が増加したことにより、売上高は10億89百万円（同13.7%増加）となりました。

車載機器

カーナビ
ITS関連用製品

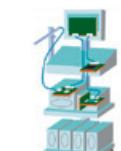


売上高構成比10.0% 前第2四半期比17.0%増

カーナビ・カーAV向け極細同軸ケーブル用コネクタの販売は減少しましたが、フローティングコネクタの販売が増加したことにより、売上高は5億19百万円（同17.0%増加）となりました。

医療機器

超音波診断装置
内視鏡
MRI用製品



売上高構成比9.6% 前第2四半期比5.2%減

医療器（超音波診断／内視鏡他）向け極細同軸ケーブル用コネクタ、特注ラックの販売は増加しましたが、CT・MRI向けハーフピッチコネクタおよび特注ラックの販売が減少したことにより、売上高は4億99百万円（同5.2%減少）となりました。

その他

複写機用製品他



売上高構成比16.9% 前第2四半期比46.3%増

防災無線・衛星通信装置向け特注ラックの販売は増加、事務用機器の販売低迷による複写機・複合機向けコネクタの販売は減少しております。売上高は8億76百万円（同46.3%増加）となりました。

当社の製品は生活のさまざまなシーンで使用されています。

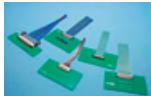


製品カテゴリー

コネクタ
 小型化、高密度化、高速伝送対応等を生かした開発コンセプトで、充実したバリエーションと多彩なシリーズを展開しています。



ハーネス
 フラットケーブル、丸ケーブル、ディスクリフトケーブルなど、さまざまなケーブルを使用したハーネスの開発を行っています。



ラック
 標準バスラックシステムを中心に、オリジナルラックシステムの開発にも柔軟に対応しています。



その他
 光アダプタやASSY治具（圧接、圧着等）を製造しています。また、コネクタの抜き治具等の開発も行っています。

FTCシリーズ 5.08mmピッチ ドロワーコネクタ ケーブル2本圧着可能タイプ

ドロワーコネクタはコピー機、複合機、遊技機器等の接続部分や、機器に付属するパネル開閉時の本体との接続部分など、ユニット間の接続に使用されています。嵌合箇所が見えない部分での接続が多いため、ガイド機構、有効嵌合長、フローティング機構の採用が求められています。

今回ご紹介する「FTCシリーズ」の最大の特長は、1つの端子（コンタクト）に2本のケーブルを圧着できることにあります。1つの端子にケーブル2本を圧着させる事により、コネクタの極数が減り省スペース化でき、

端子台を使用していた電源渡しが、端子台を省いて対応できます。

嵌合時のスムーズな誘い込みを可能としたガイド機構、嵌合誤差を吸収する機能、信頼性の高い挟み込み2点接触構造など、既に販売しているドロワータイプ圧着コネクタで好評を頂いている特長を、「FTCシリーズ」でも継承し、使い勝手の良い製品に仕上げております。

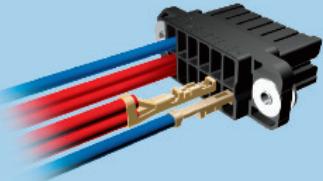
様々なバリエーションを順次展開し、お客様のニーズに幅広く対応できるシリーズにまいります。

FTCシリーズはどんなコネクタ?

1つのコンタクトにケーブル2本を圧着可能なコネクタ



使用するケーブルやコンタクトへ圧着するケーブル本数はハウジングの装着箇所ごとに任意で設定可能



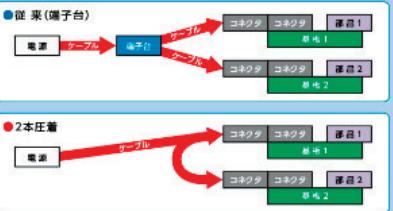
適合ケーブル AWG #14 ~ 20 圧着ケーブル本数 1 ~ 2本

FTCシリーズを利用するメリットは?

ケーブル2本圧着により、容易にコネクタ間の電源渡しが可能

これまで端子台を使用していた電源渡しが、ケーブル2本圧着によりコネクタ間で容易に対応でき、端子台を省くことが可能

●従来(端子台) ●2本圧着



2本圧着により極数を抑え、省スペース化を実現

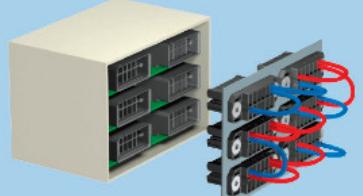
●従来 ●2本圧着



ケーブル数: 24本 極数: 24極 ケーブル数: 24本 極数: 12極

複数コネクタの同時嵌合に適している

ドロワーコネクタならではの特長により、複数コネクタの同時嵌合が容易



ネジ止め部分の可動により、嵌合後の可動をXY方向に±0.7mm吸収

ターゲット市場

電力機器	電子応用機器
車両機器	遊技機器
工業機器	事務機器

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 (2017年3月31日現在)	当第2四半期末 (2017年9月30日現在)	増減金額
<資産の部>			
流動資産	8,501,518	8,466,171	△ 35,347
固定資産	6,040,236	6,504,629	464,393
有形固定資産	4,436,715	4,524,777	88,062
無形固定資産	92,163	95,432	3,269
投資その他の資産	1,511,357	1,884,419	373,062
資産合計	14,541,754	14,970,800	429,046
<負債の部>			
流動負債	2,614,025	2,485,841	△ 128,184
固定負債	963,232	1,025,477	62,245
負債合計	3,577,258	3,511,318	△ 65,940
<純資産の部>			
株主資本	10,780,695	11,029,166	248,471
その他の包括利益累計額	183,800	430,314	246,514
純資産合計	10,964,496	11,459,481	494,985
負債純資産合計	14,541,754	14,970,800	429,046

※1

※2

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	当第2四半期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	増減金額
売上高	4,562,264	5,188,469	626,205
売上原価	3,411,271	3,736,135	324,864
売上総利益	1,150,993	1,452,333	301,340
販売費及び一般管理費	823,894	894,582	70,688
営業利益	327,098	557,751	230,653
営業外収益	28,229	20,011	△ 8,218
営業外費用	4,230	4,558	328
経常利益	351,097	573,204	222,107
特別利益	-	6,550	6,550
特別損失	707	149	△ 558
税金等調整前四半期純利益	350,390	579,605	229,215
法人税、住民税及び事業税	129,171	196,434	67,263
法人税等調整額	△ 30,294	△ 3,415	26,879
法人税等合計	98,877	193,018	94,141
四半期純利益	251,513	386,587	135,074
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,513	386,587	135,074

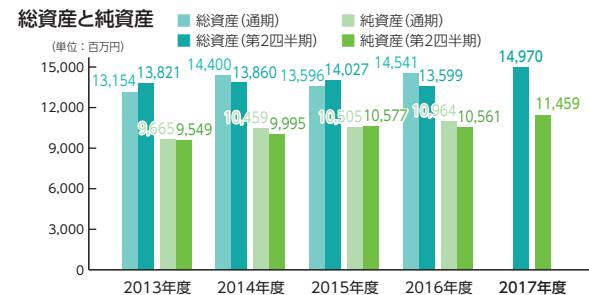
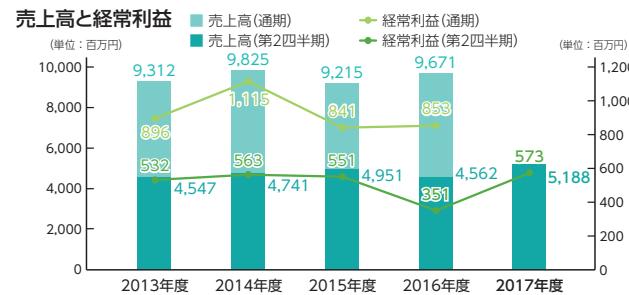
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	当第2四半期 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,528	354,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 326,256	△ 482,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 215,177	△ 224,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54,255	△ 5,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 463,159	△ 358,020
現金及び現金同等物の期首残高	3,175,423	3,272,357
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,712,263	2,914,336

POINT

- ※1 投資有価証券等が増加しました。
- ※2 電子記録債務は増加しましたが、支払手形及び買掛金等が減少したことにより減少しました。



会社概要

商号	ケル株式会社
英文社名	KEL CORPORATION
設立	1962年(昭和37年)7月23日
資本金	16億1,700万円
従業員	282名
事業目的	電気機械器具、精密機械器具、合成樹脂製品、化学製品、各種金属工業製品および雑貨類の製造、売買ならびに輸出入、その他附帯業務
ホームページ	http://www.kel.jp

役員

代表取締役社長	土居悦郎
常務取締役	島田明
常務取締役	三國武幸
取締役	原俊彦
社外取締役(常勤監査等委員)	菊地英俊
取締役(監査等委員)	白倉勝
社外取締役(監査等委員)	泉澤大介

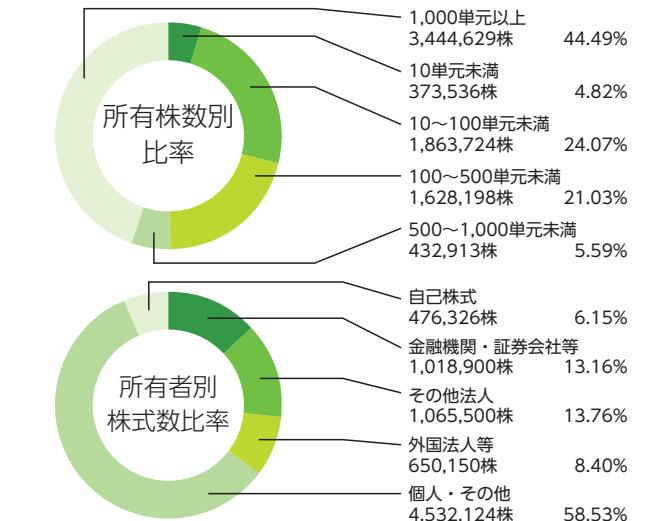
株式数および株主数

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,743,000株
株主数	2,357名

株価の推移と出来高



株式分布状況



- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 6月
- ◆ 基準日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
- ◆ 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話(通話料無料)0120-232-711
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
- ◆ 同郵送先

- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 公告の方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
(当社のホームページ
<http://www.kel.jp/investor/index.html>
に掲載しています。)
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所 ジャスダック市場

ネットワーク

- 本社 東京都多摩市永山六丁目17番地7
〒206-0025 TEL: 042-374-5810
- 事業所

山梨事業所	山梨県西八代郡市川三郷町
長野事業所	長野県北安曇郡池田町
南アルプス事業所	山梨県南アルプス市
- 営業所

宇都宮営業所	栃木県宇都宮市
水戸営業所	茨城県ひたちなか市
名古屋営業所	愛知県名古屋市中区
大阪営業所	大阪府大阪市淀川区
- 駐在員事務所

北米駐在員事務所	米国カリフォルニア州
----------	------------
- 海外子会社

旺昌電子股份有限公司	台湾 新北市
科陸電子貿易(上海)有限公司	中国 上海市
科陸電子(香港)有限公司	中国 香港
KEL Europe GmbH	ドイツ デュッセルドルフ市

ホームページのご案内



<http://www.kel.jp>

最新のニュースや企業情報、製品情報など、
様々な情報をご覧いただけます。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。